

氏 名		受験番号	
-----	--	------	--

2025 年度 大学院入学試験問題

教育人間科学研究科

教育学専攻 博士前期課程 <社会人入試（春）>

論 文

次のなかから 2 問に解答しなさい。(1)は全員が解答し、(2)、(3)、(4)の中から 1 問を選ぶこと。
1 問につき 1 枚の解答用紙を用い、選んだ問題番号を明記の上、記述しなさい。日本語で解答すること。
なお、3 問以上に解答した場合は無効となるので注意すること。

- (1) 教育学において、量的研究法と質的研究法の長所と短所を、研究例を挙げながら述べなさい。
- (2) 子どもの権利条約第 12 条に記されている「意見表明権」に関して、乳幼児に対する保障と実践について具体例を挙げながら述べなさい。
- (3) 近年、科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、数学(Mathematics)の頭文字をとった STEM 教育、さらには、芸術(Arts)を加えた STEAM 教育が注目されている。注目されている背景を説明した上で、STEM 教育、あるいは、STEAM 教育の実践事例、実践上の留意点、教育効果を論じなさい。
- (4) 教育基本法第十二条第一項は「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。」と定めている。学校を除く「社会において行われる教育」として、具体的にどのような教育が奨励されているか、また、現在その教育はどのような問題を抱えているか、説明しなさい。

